



政策を熱心に語る長島氏

党派を超えて期待の輪

長島昭久議員のタウンミーティング

東京21区選出の長島昭久衆議院議員（民主）初の「タウンミーティング」が十三日、パレスホテル立川で開催された。会場は補助席を用意するほどの盛況ぶり。国政の内容を分かりやすく、切れ良く語る長島氏の話

に、聞き入る聴衆の姿が印象的な集会だった。氏は、大きな社会的問題となっている「児童虐待」防止法改正案について触れ、児童関連予算の八割が保育所へ割かれている現状は問題であり、「必要なのは在宅者への

人的サポートである」と力説した。またその延長線上の年金問題にも「これまで年金制度はすでに破綻している」と、議員年金の廃止も視野に入れた「年金改革ファイナルプラン」の策定と実現への取り組みを語った。

最後に参加者との間で質疑応答が行われ、発言は氏への期待の大きさに終始、「十年経ったら総理大臣」の声も聞かれるほどだった。また、立川市議会の最長老志村真次郎市議（自民党政会）も応援に駆けつけ、長島氏への期待は党派を超えた広がりを見せている。なお次回「タウンミーティング」は四月二十四日予定。